



発行所
高知県立盲学校
高知市大膳町 6-32
TEL 088-823-8721
mo@s@kochinet.ed.jp



コロナ禍での 新年度スタート

いつもお世話になっております。盲学校です。今年度も、地域の皆様に盲学校の活動を理解していただくための取組を進めるとともに、定期的に学校の様子をお伝えしてまいりますのでよろしくお願いいたします。とはいえ、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から活動を見直す必要があります。通常の活動が難しい状況です。「学校の新しい生活様式」を参考にしながらの取組となりますが、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

さて、本年度は、中学部1名、高等部本科普通科5名、高等部専攻科理療科1名が入学をし、総勢22名でスタートしました。

ご挨拶

校長 八木千晶



地域の皆様には日頃から本校の教育活動に對しまして、ご理解、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

校長3年目となりました八木です。今年度も「笑顔」「夢」「感動」あふれる学校を目指し、取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が、世界中で猛威を振るう中スタートした令和2年度、3月の臨時休業から、4月7日に始業式、入学式を行うことができた。と安心したのも束の間、13日からの臨時休業が発表され、休業延長が繰り返されました。

高知県では、5月以降新規感染者が確認されていない状況が続いていましたが、7月13日、県内において75人目となる感染者が確認されました。併せて、全国的には連日、数百人単位の感染者が確認されるとともに、県外の学校におきましても感染例が報告されており、安心ができない状況となっています。

今後は、臨時休業中の学習保障をしっかりと行っていくこと、また、新型コロナウイルス感染症対策として「学校の新しい生活様式」を具体的に定着させていくことが課題だと感じています。

本年度、高知県立盲学校は昨年度より1名減り、22名の幼児児童生徒でスタートしました。中学部1名、高等部普通科5名、専攻科理療科1名の入学があり、その内3名が新しく盲学校の仲間入りをしました。「視覚障害教育の専門性を発揮し、生きる力を育む確かな教育を推進する学校」を目指し、昨年度に引き続き「百年目のチーム高知盲の新たな一歩！〜高めよう専門性、広げよう地域・社会に〜」を合言葉に、今年度はキーワードを「いい授業しよう」とし、取組を進めていきます。まずは、新型コロナウイルス感染症対策に丁寧に取り組み、幼児児童生徒のみならずが安心して登校し、学習できるよう努めていきます。どうぞ、1年間よろしくお祈りいたします。

本校の目指す幼児児童生徒像

本校では学校教育目標として、「夢に向かって『自らまなび』『社会とつながり』『たくましくあゆむ』生きる力を育てる教育」に取り組んでまいります。目指すのは、

【知】「主体的、意欲的に、学び続けることができる」
【徳】「周りの仲間とのつながりを大切に、社会参加できる」
【体】「自ら障害に向き合い、自己実現に向けて積極的に行動できる」幼児児童生徒です。

目指す幼児児童生徒の育成に向け、各学部、寄宿舎において、それぞれ目標を設定し、幼児児童生徒一人一人の目標達成を目指し、日々の授業や行事等、学校生活全体を通して、「生きる力」を育てていきます。学校の教育活動に對しまして、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和元年度卒業生の進路状況

令和元年度は、高等部本科普通科2名、高等部専攻科理療科1名が学び舎を巣立っていきました。

高等部本科普通科のうち、生徒1名は愛媛県の障害者支援施設へ入所しました。もう1名は卒業前に介護職の研修を受け、高知市内の病院に介護職員として就職しました。

高等部専攻科理療科の生徒もあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師の資格を取得して、介護老人保健施設に就職しました。

それぞれの場で頑張ってもらいたいと思います。

1学期の様子

「入学おめでとーございませう！」

4月7日に、中学部1名、高等部普通科5名、高等部専攻科理療科1名の計7名の新生を迎える入学式を行いました。新型コロナウイルス感染症対策のため、限られた人数の出席でしたが、暖かい雰囲気の中で入学式を祝うことができました。



「今日から学校再開！」

5月25日(月)から、学校が再開しました。

元気な幼児児童生徒の声や、笑顔が学校に戻ってきました。

学校では、新型コロナウイルス感染症対策への取組を進めています。給食も3密を避け、1テーブルに1人ずつ、向かい合わずに食べています。給食の前後にしっかりと丁寧に手を洗うよう栄養士さんが、手作りのキャラクターを掲示してくれています！



「オクラの観察！」

小学部2年生の生活科の授業で、栽培しているオクラの観察をしています。全盲の児童が、両手を使ってじっくり観察をしながら、たくさんの気づきを発表していました。この授業には理科の全盲の教員もST(サポート・ティーチャー)として参加しており、児童が気付かなかったことを、手を添えて一緒に触りながら、気付きを促していました。

「寄宿舎生徒会活動(ビデオ会議)」

寄宿舎の生徒会活動も新型コロナウイルス感染症対策に基づいて昨年度とはずいぶん様相が異なります。いわゆる「3密」を避け、話題のビデオ会議システムを使い、各自の居室から参加する方法で今年度初めての生徒会(会議)が行われました。

お互いに食事時以外は居室で過ごすことが多い中、はじめてビデオ会議システムに参加する舎生もあり、パソコンの画面越しに聞こえる声や姿に興奮を隠しきれない様子でした。

ちなみに、会議のテーマは「リクエストメニュー」と日課である「学習時間の約束事」の2つでした。



「視覚障害者用そろばんを使っての学習！」

点字では筆算をすることができないので、点字を使って学習を進めている児童は、指が軽く触れても動かない視覚障害者用そろばんを使って、珠算の学習を行います。

小学部2年生の教室では、そろばんを使って、引き算の確かめを行っています。



「幼稚部の給食場面！」

幼稚部の幼児も毎日給食を食べています。少しずつ自分でできることが増えていることに、嬉しい驚きを感じます。牛乳ビンをしつかりと両手で持ち、こぼさずに飲んだり、使ったおしぼりをケースに入れて蓋を閉めたり、自分でできることが増えると、どんどん世界も広がっていきますね。



「プールでの水泳の学習！」

小学部2年生の児童2名が、プールで体育の授業を行っていました。本校では、新型コロナウイルス感染症予防対策に努めながら、プールでの水泳の学習も行っています。

梅雨の晴れ間に、気持ち良さそうに水の感触を楽しみながら、プールで水しぶきをあげていました。



「コロナ疲れ、癒して笑顔に！」

中学部・高等部の生徒の取組が7月3日(金)の高知新聞朝刊に『「コロナ疲れ」癒して』と題して掲載されました。取材を受けた生徒たちは、自分が写っている写真や記事をみつけて、大喜びでした。

こうち総文で販売する予定だったアロマストーンを、TSUTAYA3店舗に置いて頂き無料配布することになり、袋詰めやメッセージカード作成をしているという記事でした。3名の生徒のインタビューも掲載されています。新聞の記事を見て、早速電話での問い合わせが学校にもあり、生徒達に伝えるとともに喜んでいました。

袋詰めした百セットのアロマストーンを、7月3日(金)、生徒たちの手でサニーマートグループのウイルに届けに行きました。7月4日(土)から店頭において頂けることになりました。生徒たちが心を込めて制作したアロマストーンが、お手元に届き、癒しのお手伝いできれば幸いです。



「治療室の再開に向けて！」

治療室では県内の新型コロナウイルス感染症状況により、臨時休業等もあり外来患者様を対象とした実習をお断りせざるを得ない状況でした。学校再開後、生徒たちは治療室の再開に向け、外来患者様に見立てた教職員を施術するなどひたむきに理療技術の向上に励んでいました。

いよいよ7月13日(月)からは外来患者様を対象とした臨床実習を再開しました。再開にあたり、関係者一同が新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底しながらの実習となります。外来患者様にはご不便をおかけする場面もあるうかと思いますが、生徒たちも練習の成果が思う存分に発揮できる機会を大変心待ちにしています。



「マスクの着用について」

報道等でもマスクの着用による熱中症のリスクが心配されています。学校では、基本的にはマスクを着用することとしています。体育の授業や熱中症などの健康被害の心配がある場合は、身体的距離を十分に保ち、近距離での会話を控えるなどの配慮をした上で、外すことも可能としますので、ご理解ください。また、紙マスクにつきましては、高知黒潮ライオンズクラブさん、訪問マッサージ等を行っている株式会社フレアスさん、その他教育委員会を通して多く寄付をいただいていますので、お知らせします。

「児童生徒が育てた野菜を使った給食！」

6月29日(月)の『冷やし中華』のきゅうり、7月7日(火)の『そうめん』のオクラは、児童生徒が生活科や生活単元の学習で育てたものでした。それぞれの児童生徒は、給食の場面で、「きゅうり、ありがとう！」や、「〇〇君が育てたオクラ、お星さまの形やったね！」などの感謝の言葉を掛けられ、とても嬉しそうでした。



「寄宿舎ライブラリー開設！」

寄宿舎生活においても新型コロナウイルス感染症対策として余暇時間を自宅で過ごす時間が増えました。舎生が持ち込んだ家庭用ゲーム機はいつも人気の的です。時間も忘れてゲームばかりに夢中になっている舎生を心配した大人達(教職員)は図書室の先生と協力してミニライブラリーを談話室内に設けました。オーテピアとも連携し、舎生たちの興味関心を引きそうな絵本や録音図書などを取り揃えたつもりですが、果たして喜んで手に取ってくれるのでしょうか？



予定されていた行事等について

10月に予定していました運動会につきましては、観客の方を含め3密の状況を避けることができませんので、今年度は中止とします。幼稚部小学部、中学部高等部普通科では、それぞれ学部行事として運動会に代わる行事を計画しています。

8月初めに予定されていました「こうち総文」につきましてもウェブ開催となり、ステージ発表がなくなり、また、ホームページへの学校紹介ビデオ(生徒主体で現在作成中)や児童生徒が作成した作品の掲載、かるぽーとの合同作品の展示等が予定されています。



「こうち総文出品作品！」

こうち総文に出品する中学部、高等部普通科生徒の胸像作品が、次々に完成しています。テーマは、「笑顔の自分の顔」！それぞれ、とても個性あふれる「自分」を表現しています。

かるぽーとの会場に、他の特別支援学校の皆さんの作品と一緒に、四百体近い胸像が大集合して飾られるのがとても楽しみです！

お知らせ

寄宿舎の工事について
寄宿舎

・令和2年度 盲学校寄宿舎改修
(改修期間中は、病弱特別支援学校の舎を利用)

工事期間中は、地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。